

## 後援頂きました団体各位への4周年シンポの御報告と御礼

2016年10月

### 介護保障を考える弁護士と障害者の会全国ネット

共同代表 弁護士藤岡毅

お蔭さまで去る10月15日(土)午後1時～5時川崎市産業振興会館にて「介護保障を考える弁護士と障害者の会全国ネット」(当会)の創立4周年を記念して、シンポジウム「わたらしい自立生活をつくる権利とは!？」が無事成功裡に開催されましたことを御報告申し上げます。同シンポは当会初の発行書籍「支援を得てわたらしく生きる!」(山吹書店)の出版記念も兼ねました。

**参加者数: 約150名** 会場には約150名の方にご来場頂きました。ユーストリームで生中継配信も実施し大勢の方に視聴頂きました。

**司会:** 司会は、脳性まひ当事者の石田雅俊さんと弁護士の当会会員東奈央が共同にて務め、当事者による司会は当会の趣旨に沿うものとして好評でした。

#### 第一部 基調講演

最初に日本ALS協会常務理事平岡久仁子さんから、ALSの実態と、協会の活動状況、皆さんにALSのことを知って頂くこと、多くのALS患者が外に出て人間らしい生活を実現すること、を目指して頑張っていきたいとのメッセージを頂きました。

続いて、同協会会長の岡部宏生さんに、ALS当事者の立場から、現在の活動状況と生活の様子のご報告を頂きました。国際会議に参加したときなどの動画をご披露頂きながら、介護の制度を十分に活用することで充実した生活を送ることができることを示したい、ご来場の方も弁護士の力を借りて充実した生活を実現させましょう、との力強いメッセージを頂きました。

#### 第二部 基調報告

次に、当会で最近取り組んだ事例報告として、脳幹梗塞による脳動脈乖離に基づく四肢麻痺と運動障害性構音障害による「閉じ込め症候群」(ロックド・イン・シンδροーム)と診断された方の支援事例について、1日24時間以上のヘルパー時間数を実現させた担当弁護士と当事者ご本人からご報告を頂きました。「伝の心」というコミュニケーションツールを用いてのご報告は参加者にも印象的でした。ご本人からは、発症当時の心境の告白、私は私らしく生きたいとの強いメッセージ、元同僚の方々からの温かい激励の声などをご紹介頂き、参加者アンケートでは、感動に震えたとの感想が溢れました。

#### 第三部 事例報告 第四部 質疑&ディスカッション

シンポジウム後半では、全国各地からの弁護団方式によるヘルパー時間数交涉及び裁判の事例9件について、全国の弁護士から当事者の話を交えての報告と、意見交換が行われました。弁護団による交渉を経て短期間でヘルパー時間数増量を実現した事例での交渉のポイント、今後の活動に向けての課題が話題に上りました。

全国には、必要なヘルパー時間数が得られず、自分らしい生活を実現できていない当事者が多数存在します。当会では今後も、各地でシンポを開催し、会員弁護士を全ての都道府県に配置する等の活動を通じて誰もが「わたらしい自立生活」を行える社会を実現していきたいと考えています。

